

タガメ

Lethocerus deyrollei

カメムシ目 コオイムシ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 II



昆
虫
類

体長48～65mm，褐色でわが国カメムシ目最大の昆虫である。県内では，かつて水田地帯のすみずみまで広く分布していた。1962年夏には，大分市羽屋に新設された工場周辺の蛍光灯に，連日，多く飛来し，オート三輪車で捨てに行く光景がみられた。1965年ごろから，BHCやPCB粒剤が水田で多用され，急激に姿を消した。その後，農薬汚染のない山間部で生息が知られていたが，竹田市と荻町を除いては，近年生育の記録がなく，絶滅の危険性が極めて高い。

(写真：三宅 武 文：中島三夫)

県内分布 (日田市),(山香町),(杵築市),(大分市),竹田市,荻町

分布域 本州, 四国, 九州, 沖縄

アッサム, 朝鮮半島, 中国, 台湾